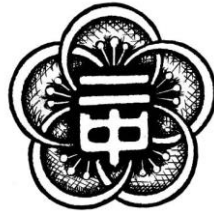


中野区立第二中学校学校だより

若葉 第184号



平成29年4月18日

平成29年度第1号
発行者：校長 石田 重久
広報委員会

中学校での出会いを大切にしよう

校長 石田 重久

4月1日に池田浩二校長に代わり、青梅市立第七中学校より着任しました石田重久です。中野区での勤務は初めてですが、中野二中とは深い縁を感じています。

まずは、学校の近くの青梅街道です。前任校の学区に青梅街道起点とありました。江戸城を改築するための青梅石灰(白壁の原料)を輸送するために開かれた街道です。街道により人や物が行きかい交流が深まりました。そして、瑞穂第二中学校で校長をしていましたので、二中に親しみがあります。どうぞよろしくお願いいたします。



4月6日の始業式、7日の入学式で、校庭の桜が満開の中103名の新入生を迎え今年度の中野区立第二中学校がスタートしました。入学式では、次のような話をしました。

今日から皆さんは、中野区立第二中学校の生徒として第一歩を踏み出します。新入生の皆さんが、「第二中学校に学んでよかった」と言えるように、一日も早く中学校生活に慣れ、楽しく充実した学校生活を送れることを願っています。充実した学校生活を送るために二つの話しをします。

一つ目は、『出会いは作る』です。

ここにいるすべての人は、いままで同じ人と会ってきました。しかし、人によって親友や恩人と呼べる人が違うのはなぜでしょうか。それは、会うだけで、出会いになっていなかったのかもしれない。出会いは作るものなのです。そのために、まずは相手の目を見てあいさつをすることから始めてください。あいさつをすることにより、話しが始まり、中学校生活を終えた後に、「よい出会い」があったと言えるようになります。

出会いは、人だけではありません。勉強、本、スポーツとあります。中学校生活には、進路・人生を決めるすばらしい機会があります。見逃すことなく、積極的に出会いとしてください。そして、第二中学校は、よい出会いにあたいする先生ばかりです。

二つ目は、「何をやりたいか、何になりたいかの目標を持つこと」です。

目標や夢を持つことで、今何をしなければいけないのかが決まり、計画が立ちます。一日一日を大切にしなければ、中学校は、三年間で小学校の半分しかないのです。三年後に皆さんが卒業した、夏には、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。オリンピック・パラリンピックの準備期間と中学校生活を重ね合わせていきましょう。

あいさつをかわしあい、笑顔あふれる楽しい学校を充実させ 一人一人が明るさをまし、結びつきを持って、校歌にある 理想の星座として輝きましょう。

「楽しい学校」について8日の朝礼で次のような話をしました。

「楽しい」というと、笑ったり騒いだりして楽しかったということがありますが、学校の楽しさは違います。

今から約2500年前の中国の論語に「子いわく、これを知るものはこれを好むものにしかず。これを好むものはこれを楽しむものにしかず。」というものがあります。一般的な解釈は「知っているだけで人は好んでやっている人にはかなわない。好んでやっている人も楽しんでやっている人にはかなわない。」で、勉強や仕事への取り組みを述べているもので「知好楽」と言われます。

学校生活の中心は、授業です。授業を「楽しい」ものにするためには、その内容を「知る」ことから始めなければなりません。

中野二中の教育活動を継続し発展させるとともに、「知る」ことから始めるという積極的な生き方が楽しい学校になることを目指してまいりますので、引き続き本校へのご支援ご協力をお願いいたします。

平成29年度 教職員の異動

平成29年度の教職員の異動につきまして、次のようになりましたのでお知らせします。昨年度まで中野二中の教育活動に貢献していただき、また支えていただいた教職員の皆様、ありがとうございました。今年度からお見えになった教職員の皆様、よろしくお願いします。

<転出教職員>

職：教科	氏名	転出先
校長	池田 浩二	中野区立南中野中学校
主任教諭：美術	矢作 靖子	千代田区立神田一橋中学校
主任教諭：数学	樋口 雅世	新宿区立牛込第二中学校
主任教諭：特支	渡部 香里	退職（豊田市）
教諭：数学	狩野 勉	足立区立第十二中学校
教諭：特支	新倉 あや	調布市立神代中学校
産育代教諭：特支	杉山 亜希乃	都立村山特別支援学校
非常勤教員：特支	菊池 由岐雄	板橋区立高島第五小学校
スクールカウンセラー	斎藤 真紀子	世田谷区立北沢中学校
心の教室相談員	杉山 弘樹	退職（児童でいほっと浦安）

<転入教職員>

職：教科	氏名	前任校
校長	石田 重久	青梅市立第七中学校
主任教諭：数学	石倉 有希子	品川区立日野学園
主任教諭：数学	三嶋 進	小平市立小平第四中学校
教諭：特支	高野 梓	中野区立第七中学校
教諭：特支	白瀬 まゆ美	中野区立第七中学校
教諭：保体	斉藤 由佳	新規採用
スクールカウンセラー	小泉 桃代	
心の教室相談員	小山 詩織	明星大学
介助員：I組	荒木 啓介	中野区立桃園第二小学校



平成29年度教職員組織



- | | | | |
|---------|----------------|-------------|-------------|
| ◇校長 | 石田 重久 | ◇事務 | 杉野 衣代、加島 由佳 |
| ◇副校長 | 瀧川 英知 | ◇栄養士 | 須永 理菜 |
| ◇教務主任 | 松下 剛（主幹教諭） | ◇スクールカウンセラー | 小泉 桃代 |
| ◇生活指導主任 | 東郷 かおり（主幹教諭） | ◇心の教室相談員 | 小山 詩織 |
| ◇進路指導主任 | 堀田 俊弘（主任教諭） | ◇図書館指導員 | 梅野 知子 |
| ◇保健主任 | 神棒 砂知子（主任養護教諭） | | |

第1学年 主任	北村 理恵 (音楽)	第2学年 主任	坂元 仁志 (社会)
A組担任	三嶋 進 (数学)	A組担任	小宮山 貴史 (英語)
B組担任	半田 和也 (国語)	B組担任	定岡 美深 (理科)
C組担任	北村 理恵 (音楽)	A組副担任	石倉 有希子 (数学)
ABC組副担任	松下 剛 (保健体育)	B組副担任	坂元 仁志 (社会)
ABC組副担任	斉藤 由佳 (保健体育)		
学年付	神棒 砂知子 (養護)		

第3学年 主任	堀田 俊弘 (技術)	I組 主任	島田 昌洋 (特別支援)
A組担任	堀田 俊弘 (技術)	1年担任	篠崎 勝正 (特別支援)
B組担任	渡邊 アヤ乃 (英語)	2年担任	高野 梓 (特別支援)
A組副担任	東郷 かおり (国語)	3年担任	島田 昌洋 (特別支援)
B組副担任	後藤 尽八 (英語)	1・2・3年副担任	白瀬 まゆ美 (特別支援)
AB組副担任	長友 謙治 (理科)	介助員	鈴木かよ、高橋宏佳、荒木啓介

非常勤講師 齋藤 裕行 (社会)、広瀬 健太 (数学)、飯野 哲心 (美術)、
梅山 由記江 (保健体育・I組)、小林 彩 (家庭)、乙村 千絵 (I組音楽)
越智 伸明 (I組美術)、金納 美穂子 (I組作業)、近藤 誠子 (I組生単)

《始業式》

4月6日(木)新年度がスタートしました。

桜が咲く中、生徒は期待に胸をふくらませてきて登校しました。昇降口で新しいクラス名簿が配布され、歓喜あふれる声が校舎に響き渡りました。その後、アリーナでは落ち着いた雰囲気の中、始業式を迎えることができました。これから1年間、充実した学校生活を送れるよう教職員も新たな気持ちでサポートしていきます。



《対面式》



4月11日(火)に生徒会本部が主催する、新入生を歓迎するための対面式が行われました。第一部が学校生活について、第二部が部活紹介でした。今年度から新たな試みとして学校生活の説明を寸劇で行ったのですが、3年生が中心のボランティアで素晴らしい演技を披露しました。「挨拶は明るくいつでも爽やかに続けましょう」「1年生で身に付けた授業の受け方や、学習の取り組み方が皆さんの大事な中学校生活の土台となります」と生徒会本部が語りかけていましたが、一年生にとっても、学校生活の不安や疑問が少しでも解消された会になっていたらいいと思います。

部活紹介では、各部活の特色が活かされた力強いパフォーマンスが見られました。充実した中学校生活を送るためにも、3年間続けられる部活動を選んでほしいと思います。



《入学式》

4月7日（金）第71回 入学式が行われました。

通常学級98名、特別支援学級5名、103名の新入生が二中の一員となりました。

新入生代表の誓いのことば を一部紹介します。

『（前 略）

これから始まる中学校生活には、期待と不安があります。新しい友だちを1から作ったり、算数が数学に変わったり、英語の授業がはじまったりと、大変なことも多いと思いますが、小学生のときと同じように、友だちと支え合い、協力しながら過ごしていければ、きっと大丈夫だと信じています。

中学校で楽しみにしていることは、部活動です。学年に関係なく、全員で一つのことに目標を持って取り組むことができ、先ばいにもさまざまなことを教えてもらいながら、もっともっと自分が成長していけるからです。

（後 略 ）』

希望に胸を膨らませた思いが伝わってきました。

担任の呼名に、大きな声で「はい」と返事をして、落ち着いた態度で式に臨むことができました。

ひとりひとりが充実した3年間を過ごせるように目標を持って取り組んでいきましょう。



◇◆◇ お 願 い ◇◆◇

中野二中では、今年度も『学校だより 若葉』、各学年通信、クラス通信など、各担当からの便りやホームページを使って、より多くの情報を発信させていただこうと考えています。その際、生徒たちの生き生きとした活動の内容をお伝えするために、活動の様子を撮影した写真、作文、個人名などを使用させていただく場合がございます。掲載に際しましては、担当者を始め全教職員で細心の注意を払っておりますが、何か特別な事情等ある場合にはお申し出ください。使用の主旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い致します。

また、二中では学校情報発信システムを導入し、各種の便りだけでなく数多くの情報を発信しています。今年度から、これまでの登録方法から、スマホ、携帯電話、PCから保護者の方が直接登録する方法に変更されました。まだ登録されていない保護者の方は、随時登録が可能ですので登録をお願いします。

